

## New US bird flu plan suggests more drug stockpiles Reuters (国際) 米国、改訂パンデミック対策計画、抗インフルエンザ薬備蓄量の増加を求める

2008/6/5

米国政府の改訂パンデミック対策ガイドラインでは、国民を感染から守るためにさらにタミフルの備蓄量を増やすことを提案し、また各家庭での感染予防のためのマスクの備蓄を薦めている。

ガイドラインでは初めて感染予防のために、タミフルとリレンザを使用することを提案し、さらに企業に対して従業員の治療や予防のために前もってこれらの抗インフルエンザ薬を購入しておくことを薦めている。

またガイドラインでは、市民にどの程度の数のマスクを備えておくべきかも明示している。

米国政府は現在**5000万人分**の抗インフルエンザ薬を備蓄している。さらに各州は、連邦政府の助成のもとに計**3100万人分**の薬を購入することが出来、計画では合計**8100万人分**の抗インフルエンザ薬を備蓄する予定になっている。

保健福祉省のパンデミック行動計画担当者の一人で、この改訂ガイドラインの大部分を書いたベン・シュバルツ博士の説明では、今回の提案では抗インフルエンザ薬の備蓄量は、パブリック・コメントも反映して**1億9500万人分**まで増量することを考慮している。

ガイドラインでは、感染予防のための薬の使い方まで詳細に記載している。

「保健医療従事者と緊急業務従事者の感染予防のために、抗インフルエンザ薬の発注と備蓄の責任は、基本的に保健機関、または緊急業務提供機関に課せられる。業務に携わる従事者を感染から守る責任があるからだ」、とシュバルツ博士は電話取材で語っている。

同博士によると、連邦政府はインディアン保健局 (Indian Health Service) と退役軍人局 (Veterans Affairs Department,) で働く、連邦政府所属の保健医療従事者に対する抗インフルエンザ薬は購入する予定のようだ。

### 根付いてしまったウイルス

#### 抗インフルエンザ薬

現在パンデミックに対する最大の脅威は H5N1 鳥インフルエンザに向いている。それは多くのアジアの地域で鶏やアヒルの間に根付いてしまい、また、ヨーロッパ、中東やアフリカの一部の地域でも時折発生している。人々間での感染は希とは言っても、2003年以來15カ国で383人が発病し、241人が命を失っている。

ロッシュ社とギリード・サイエンス社 (Gilead Sciences) が製造するタミフル、または一般名オセルタミビルと、グラクソスミスクライン社とビオタ社 (Biota) が製造するリレンザ、一般名はザナミビル、の両薬剤は、季節性インフルエンザと鳥インフルエンザの治療に用いられる

が、また予防にも使われることもある。

ワクチンは世界で数社が H5N1 ウイルスに対して製造しているが、それらに変異したパンデミック・ウイルス株にも間違いなく効果を発揮するかは不明で、また（パンデミック時に）十分量備蓄されているかも分からない。また他のウイルス株がパンデミックを起こすこともあり得る。

「1918年のスペインインフルエンザのようなパンデミックが生じた場合、その第一波による被害は、抗インフルエンザ薬の使用で14万4000人の死者を減らし、185万人の入院患者数を減らすことが出来る」、とガイドラインでは説明している。

### マスクと特殊マスク（レスピレーター）

別な提案では予防用マスクとレスピレーターと呼ばれる特殊マスクの備蓄を薦めている。

「適切な使用で、一人の介護者は一人の対象者のケアに1日数回レスピレーターを使用できる。そうした理由で家庭に20個のレスピレーターの備蓄が適切であろう」

「パンデミックは各地域で6～12週間続くと考えられる」

ガイドラインではそのように付け加え、

「外出して仕事などで社会的に人々に接することを避けられない人々は、100枚程度のマスクを備蓄しておくといいだろう」、と記載している。

### 企業における抗インフルエンザ薬の備蓄

三番目の提案として、企業の雇用主に対して従業員の感染予防のために抗インフルエンザ薬を備蓄しておくことを薦めている。

ロッシュ社によると300社以上がパンデミック対策としてタミフルを購入していて、さらに数百社が発注しているとされる。

マスク：日本で言うところの使い捨てマスクで外科用マスク他、歯科用マスク等。

レスピレーター：原文によると N95 マスクを含め、フィルターが装着されているものを意味する。